

「赤木ファイル」国会に示せ 【清水衆院議員 11日野党合同ヒアリング】

■ 清水ただし衆院議員は、11日、野党合同ヒアリングで、近畿財務局職員で自殺した赤木俊夫さんが改ざんの過程をまとめた文書などを含む「赤木ファイル」を今国会に提出するよう財務省に要求。ファイルの存在をめぐっては、麻生副総理が10日の衆院予算委員会で、同ファイルの把握は「かなり前」と答弁していました。

清水議員は、国会で繰り返し「赤木ファイル」の提出を求めてきたものの存否を明らかにしてこなかったと指摘。「裁判所からの命令があって初めて、今年2月以降に文書を特定する作業をしたということか」と追及。財務省の担当者は、裁判所からの指示要請も受けてのものだと回答。清水氏は、「存否を含めて明らかにしない」というこれまでの対応を批判し、「今国会会期末まで1ヵ月ある」「国会開会中に提出するべきだ」と迫りました。

* 大反響があった10日衆院予算委員会・清水質問は、「近畿ブロックニュース②」で紹介しました



病床削減法案を批判、医師増員こそ 【倉林参院議員 11日厚労委員会】

■ 倉林明子参院議員は、11日、参院厚生労働委員会で、“医師の働き方改革”の名で残業を過労死ラインの2倍（年1860時間）まで容認する病床削減推進法案を批判し、長時間労働の是正のために「医師の増員を」と求めました。



倉林議員は、厚労省の調査で、病院勤務医の半数近くが労働時間を自己申告しており、客観的な時間管理ができていないと指摘。「残業時間を正確に申告していない」との回答のほか、「申告できる残業時間の上限が決められている」との回答もあると指摘しました。

倉林議員が「申告上限の設定は労働時間の適正把握のためのガイドラインに反する」とたどすと、吉永和生労働基準局長は「反する」と認めました。また、倉林議員は、人口減のため医師は将来、過剰になるとする政府の推計は、過労死ラインの労働時間を前提としていると批判。「(コロナ感染症対応の中,)ギリギリの医療体制を医師の長時間労働が支えている。医師の増員抜きに国民の命は守れない」と強調しました。

島々の軍事要塞化許さない【こくた衆院議員 12日外務委員会】

■ 12日衆院外務委員会で、こくた恵二衆院議員は、米海兵隊の「島嶼（とうしょ）要塞」構想について質問。「ミサイル配備拠点の候補地」の資料を示して、「長崎県対馬を起点に、馬毛島、奄美、沖縄本島、宮古、石垣、与那国島の各付近を候補地としていることが見て取れる」と指摘。「EABO作戦（遠征前進基地作戦）は、日本の島々を障壁として活用するということではないのか」と追及。「構想どおりに米軍のミサイルが配備されれば米中対立が激化し、有事となった場合、軍事要塞にされた島々が真っ先に標的、攻撃対象となる」「知らないでは済まされない」と迫りました。

中山防衛副大臣は、日米間の具体的な検討状況について、「相手方との関係、情報保全の点から、お答えは差し控える」と相変わらずの一般論、逃げの答弁に終始しました。



21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 27(2021.5.14)

【近畿選出国會議員の質問】

近畿選出議員の質問概要を随時お伝えします。